

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成28年4月21日(2016.4.21)

【公開番号】特開2013-199117(P2013-199117A)

【公開日】平成25年10月3日(2013.10.3)

【年通号数】公開・登録公報2013-054

【出願番号】特願2013-41180(P2013-41180)

【国際特許分類】

B 4 1 F 31/02 (2006.01)

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

B 4 1 L 13/18 (2006.01)

B 6 5 D 25/20 (2006.01)

【F I】

B 4 1 F 31/02 G

G 0 6 F 3/12 Z

B 4 1 L 13/18 U

B 6 5 D 25/20 P

B 6 5 D 25/20 Q

【手続補正書】

【提出日】平成28年3月1日(2016.3.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

インクを運搬するように構成され、印刷に有益なシステムであって、

インク運搬装置と、

結合部と、

プロセッサと、

を備え、

前記インク運搬装置は、

底面、前記底面の末端にある開口部および前記底面に近接した1つ以上の側壁を含み、前記1つ以上の側壁は、前記底面と、前記開口部の周りに配置されたつば部との間に位置付けられた頸部部分を形成するように構成されている、容器と、

前記つば部と噛み合って、閉じた位置において前記開口部を覆うように構成された可動式の蓋と、

前記可動式の蓋が前記閉じた位置から開いた位置へ移動することを促進するように構成されたユニットモニタと、

前記開口部を密封するために、前記可動式の蓋の1つ以上の面と前記つば部の1つ以上の面との間に位置付けられ、前記可動式の蓋が前記開いた位置にあるときは脱着可能である、薄膜と、

前記可動式の蓋が前記開いた位置にあるときは前記容器の移動を制限するように構成された締め付けつまみと、

を含み、

前記結合部は、

前記可動式の蓋が前記開いた位置にある時、前記インク運搬装置を受け取り且つ前記締

め付けつまみに係合し、

前記インク運搬装置から前記結合部を介して格納円筒部に前記インクが流れ込むように、前記格納円筒部に取り付けられるように、構成され、

前記プロセッサは、

前記可動式の蓋が前記閉じた位置から前記開いた位置へ移動することを促進するように、前記ユニットモニタと通信し、

前記プロセッサと前記ユニットモニタとの間での通信に少なくとも部分的に基づく前記容器のなかのインクのタイプの検出に基づいて、前記可動式の蓋が、前記薄膜の離脱を促進して前記インクが運搬されるように、前記閉じた位置から前記開いた位置へ移動することが許される、

システム。

【請求項 2】

前記結合部は、締め付け可能な持ち手を備え、

前記可動式の蓋は、前記締め付け可能な持ち手と噛み合うように構成され、

前記可動式の蓋は、前記締め付け可能な持ち手により前記閉じた位置から前記開いた位置へ移動する、

請求項 1 に記載のシステム。